

令和5年1月発行

第198号

発行所

水戸市農業委員会事務局

水戸市中央1丁目4番1号

☎224-1111(内線6422)

年4回発行

# 水戸市農業委員会だより



水戸市農業委員会会長

笹沼 恭一



水戸市農業委員会会長代理

渡邊 隆文

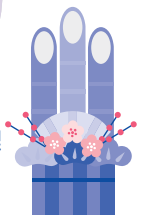


水戸市農業委員会会長代理

皆川 晃



## 新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。併せて、日頃から当委員会活動に対しまして、農家の皆様はもとより関係機関の皆様方に深いご理解と

ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。農業分野においては、国際情勢が変動する中で、原油価格及び飼料・肥料などの生産資材価格の高騰など、営農を取り巻く環境は年々厳しくなっていると

認識しております。また、農業者の高齢化や労働力不足が進み、耕作放棄地が増大している中で、デジタル技術を活用して効率性の高い営農を目指す「農業DX構想」とともに、持続可能な農業を実践するための取り組みが

スタートするなど、農業者は様々な変化が求められていると感じております。  
当委員会は、農業に従事する方々と行政とのパイプ役となり、更なる農業発展と課題解決のため、本年も尽力してまいります。今後につきましても、皆様方により一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のごあいさつ



水戸市長

高橋 靖

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

要な化学肥料の原料価格の上昇などにより、大変厳しい経営環境を余儀なくされていることと認識しております。このような状況の中、本市といたしましては、地域経済の回復に向けて、令和4年度の補正予算を講じながら、物価上昇の影響緩和と経済の安定化に取り組み、農業分野におきましても、物価高騰及び飼料、肥料の価格高騰対策等を緊急的に進めているところであります。

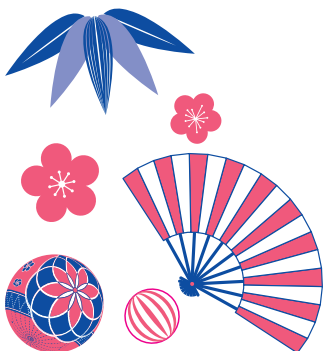
食料自給率の低い我が国においては、これまで以上に食料安全保障の問題が重要課題となっており、食料増産につながる取組を推進するとともに、市民農園の利用や収穫体験等を通じて、農業の大切さが再認識され、消費者である市民の方々が様々な形で農業を支える農業関係人口の増加にも取り組んでまいりたいと考えております。農業が直

面する諸問題に対処しながら、持続的な発展ができるよう様々な施策の推進に努めてまいります。  
結びに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

農家の皆様におかれましては、原油や生産資材、穀物価格の高騰に加え、農業生産にとって重

要な化学肥料の原料価格の上昇などにより、大変厳しい経営環境を余儀なくされていることと認識しております。このような状況の中、本市といたしましては、地域経済の回復に向けて、令和4年度の補正予算を講じながら、物価上昇の影響緩和と経済の安定化に取り組み、農業分野におきましても、物価高騰及び飼料、肥料の価格高騰対策等を緊急的に進めているところであります。

食料自給率の低い我が国においては、これまで以上に食料安全保障の問題が重要課題となっており、食料増産につながる取組を推進するとともに、市民農園の利用や収穫体験等を通じて、農業の大切さが再認識され、消費者である市民の方々が様々な形で農業を支える農業関係人口の増加にも取り組んでまいりたいと考えております。農業が直



### 農地等の利用の最適化の推進に係る要望書を市長へ提出しました

農業委員会では、農地等の利用の最適化を推進するため、「令和4年度の農地等の利用の最適化の推進に係る要望書」を11月18日に市長へ提出しました。

要望書の主な内容は次のとおりです。

#### 1 資材・肥料等の価格高騰に伴う農家支援体制の拡充について

- (1) 農家を対象とした相談支援窓口の設置及び耕畜連携の推進について

#### 2 担い手への農地利用の集積・集約化

- (1) 埋没式境界マーカ―の利用促進支援について
- (2) 基盤整備に関する道路占用許可の緩和について

#### 3 遊休農地の発生防止・解消

- (1) 有害鳥獣対策について
- (2) 未相続農地の相続登記促進について
- (3) 河川排水路等の適正管理について

#### 4 新規参入の促進

- (1) 農業支援制度に関する研修会の開催について

#### 5 その他

- (1) 野焼きについて
- (2) 農道整備要望路線の早期着工について



### イノシシ・ハクビシン・アライグマ捕獲を実施しました

市では、イノシシ等による農作物への被害を防止するため、茨城県猟友会水戸支部のご協力のもと水戸市有害鳥獣捕獲隊を編成し、平成15年度から毎年、一斉捕獲を実施しております。令和4年度は11月末までに、イノシシ47頭、ハクビシン23頭、アライグマ12頭を捕獲しました。

ハクビシンやアライグマ等による被害は年々増加傾向にあり、目撃情報も広範囲におよんでいます。農地等に残さを捨てないことや耕作放棄地をなくすことも被害軽減に効果があります。農家の皆様のご協力をお願いいたします。

《お問い合わせ先》水戸市農産振興課 (☎259-2212)

営農をしていく中では、時に農作物に対する野生の鳥獣の甚大な被害があります。

水戸市では、捕獲隊のおかげで被害が減少し、有難く思っているとの地域の方の声が聞かれますが、それでも荒廃耕作放棄地の増加により、有害鳥獣にとって生息しやすい環境が広がっており、被害が拡大しつつあることも事実です。その中でも特にアライグマは全国的に急増しており、被害も大きいと聞きます。加えて、人間に感染する病気を持っていたり、凶暴だったりすることから、専門業者等に依頼するなど、一般の方の捕獲は控えてほしいと思います。

今後も捕獲隊の活躍に期待いたしております。

(茨城県鳥獣保護管理員 水戸市担当 大圖 金雄氏 寄稿)

### 農業委員会

### 活動報告 10月～12月

#### 10月

5日(水)

第27回運営委員会

13日(木)

第28回総会

農地利用最適化推進協議会

17・20・25日

西部・中部・東部地区連絡会

#### 11月

4日(金)

第28回運営委員会

11日(金)

第29回総会

農地利用最適化推進協議会

15・21・25日

西部・中部・東部地区連絡会

#### 12月

5日(月)

第29回運営委員会

13日(火)

第30回総会

農地利用最適化推進協議会

15・20・26日

西部・中部・東部地区連絡会

# 水戸市 農業委員・農地利用最適化推進委員

## 募集

農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員と農地利用最適化推進委員（以下「推進委員」）の募集を行います。

### 職務内容

農業委員 農業委員会総会に出席し、農地法許可の審議等を行う。  
推進委員 担当区域において、遊休農地対策等の現場活動を行う。

### 募集期間

農業委員 令和5年2月13日(月)～3月16日(木)  
推進委員 令和5年4月13日(木)～5月19日(金)

### 募集人数

農業委員24人、推進委員20人

### 任期

農業委員 令和5年7月20日～令和8年7月19日  
推進委員 委嘱日(令和5年8月予定)～令和8年7月19日

### 応募方法

「農業者や農業団体等からの推薦」と「自らの応募」の2種類の方法があります。

応募手続の詳細は、募集要項をご覧ください。水戸市ホームページからダウンロードできる他、農業委員会事務局、各出張所及び各市民センターの窓口に備え付けております。

水戸市ホームページ：<https://www.city.mito.lg.jp/>

## 農業体験活動のパネル展を開催します

本市では、次世代を担う市内の小・中学生を対象に、生きる力を育み、地域農業への理解を深めてもらうため、農業体験活動の場を提供しております。

今年度は市内17の小・中学校の児童・生徒が農業体験を行った様子を写した、写真や感想文などのパネル展を開催します。この機会に是非ご覧ください。

### 開催期間及び会場

○令和5年1月30日(月)～2月7日(火) ▽水戸市役所本庁舎1階多目的エリア

○令和5年2月28日(火)～3月7日(火) ▽各市民センター

全17校の展示

(大場小・妻里小・常磐小・上大野小・上中妻小・河和田小・稲荷第一小・緑岡小・鯉淵小・渡里小・飯富小・内原小・下大野小・柳河小・赤塚小・笠原中・千波中)

《お問い合わせ先》農業委員会事務局 農政係 ☎ 224-1111 内線6432)

## 農地利用実態把握調査票の提出を

**調査票は令和5年1月31日(火)までに必ずご提出ください。**

### 調査の目的

農地の利用状況の確認や、農地の出し手・受け手の営農意向等を確認し、農地台帳の整備、農地の集積・集約化を推進するため、調査を行います。

### 調査対象

市の東部地区に住所を有し、耕作面積が1,000㎡以上の農家世帯  
(東部地区：上大野、酒門、下大野、稲荷、大場)

### 提出先

- ・ 農業委員会事務局 (本庁舎5階)
- ・ 農産振興課 (内原庁舎3階)
- ・ 赤塚・常澄出張所
- ・ 各市民センター

### 提出方法

- ① 上記提出先に直接持参
- ② 同封されている返信用封筒を使用し、郵送にて返送

### 提出期限

令和5年1月31日(火)

《お問い合わせ先》 農業委員会事務局 調査広報係(☎224-1111 内線6422)

## 委員のひとこと

私が農地利用最適化推進委員となつて5年になります。活動開始当初、農地調査をした時、大木が生い茂る場所が農地となっていることに驚いたことを思い出します。また、竹林からの竹の侵入により、耕作不能になつた農地、境界すら確認できないほど荒れた状況の農地などが多数存在し、これらを農地に戻すには、大変な労力・金額がかかると思いました。

また、後継者不足も大きな課題となつております。多くの農家が後継者不在の状況では、「担い手農家」に頼るしかないのが現状です。しかしながら、それにも限界があり、新たな「担い手」となる新規就農者の育成・強化等のため、地域の農業者が一体となり、若者へ農業の魅力を伝える場、機会を提供することが必要だと感じています。

これらの問題を解決するには、地主、地域農業者、行政が結束することが大事であり、「農地を守る」という意思の共有が必要です。その懸け橋となることが推進委員の重要な役割だと痛感しております。

私は、令和2年8月に新体制となつた農業委員会に、農地利用最適化推進委員として就任させていただきました。任期も残り半年となりましたが、就任から今まで、農地の利用集積や遊休農地の解消、新規参入の促進、農副連携の推進等に取り組みでまいりました。

私自身、年間を通してネギの生産・販売をしながら、水戸市内や近隣地域の担い手となる、新規就農者のサポートや育成を行つてきました。そうした活動により、少しずつではありますが、遊休農地が再生され、農作物が作られている様子を見かけるようになり、大変嬉しく思います。

推進委員就任当初から、新型コロナウイルス感染症の拡大、肥料高騰など、農業者にとつて厳しい状況が続いておりますが、引き続き新規就農者のサポート、遊休農地の解消に一層取り組んでいき、地域の皆様、農業の諸先輩方のご指導、ご鞭撻をいただきながら、頑張つて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(推進委員 内藤 博)

(推進委員 矢崎 雅昭)